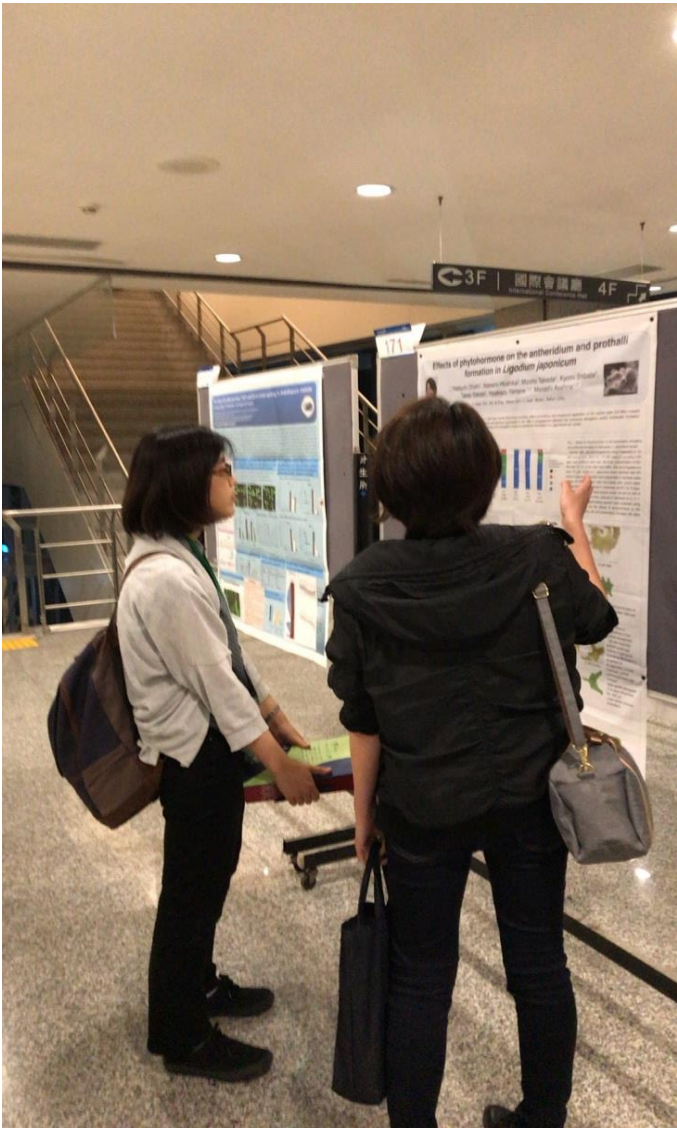


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	Taiwan-Japan Plant Biology 2017
演題名	Effects of Phytohormone on the Antheridium and Prothalli Formation in <i>Ligodium Japonicum</i>
発表者	<p>○Ohishi N[1]※, Hoshika N[2]※, Takeda M[2]※, <u>Shibata K[2]</u>, <u>Yokota T[2]</u>, <u>Yamane H[2]</u>, <u>Asahina M[1],[2]</u></p> <p>[1]Grad. Sch. Sci. &amp; Eng., Teikyo Univ, Utsunomiya, Japan [2]Dept. Biosci, Teikyo Univ, Utsunomiya, Japan</p> <p>※:本学の大学院生、卒研生</p>
内容	<p>シダの胞子が発芽すると前葉体と呼ばれる配偶体上に造精子器と造卵器を形成し、そこでつくられた精子を卵が受精することで次の世代を生み出す。これまでの研究から、フサシダ科のカニクサ (<i>Ligodium Japonicum</i>) では、植物ホルモンの一種であるジベレリンが造精子器形成誘導作用を持つことが知られている。本研究は、光学顕微鏡を用いて、カニクサの造精子器・前葉体形成に対する植物ホルモンの効果を詳細に解析することを目的として行った。</p> <p>なお発表者は、台湾中央研究院 (Academia Sinica) にて開催されたTaiwan-Japan Plant Biology 2017に参加にあたり、日本植物生理学会から渡航費用援助を受けた。</p>
関連画像	 <p>ポスター発表の様子</p>